令和2年陸前高田市議会「議会と語る会」

市民要望に市長が回答

陸前高田市議会が市内の各種団体と行った令和2年「議会と語る会」（10月から11月）で寄せられた意見や要望に対する市長からの回答（12月24日付）を紹介します。

市交通指導隊

【隊員の確保と報酬面の充実について】

回答　交通指導隊については、市内8地区の交通安全協会の各分会からの推薦を受けて市長が任命しており、現在、定員30人に対し、16人で活動していただいている。

近年、日ごろの交通安全街頭指導や小・中学生への交通安全教室の講師のほか、イベント開催の増加に伴い交通誘導の協力要請も増え、1人当たりの負担も大きくなっていると認識している。市としては、市内交通安全協会各分会と連携を強化し、他団体へも協力をお願いしながら隊員の確保に努めているものの、大幅な増員に至っていない状況であり、今後も市内交通安全協会をはじめ他団体へ協力をお願いし、一人でも多くの隊員確保に努めたい。

報酬については、現在、指導員の職位により14万円から17万円の報酬と、移動にかかる旅費を支給している。本市の報酬は、県内他市と比較して、おおむね中位に位置しており、近隣市町の中では最も上位に位置しているところから、決して低額であるとは認識していないが、今後も県内他市の状況を勘案しながら検討していきたい。

【トランシーバーなどの機材充実と保管場所の確保について】

回答　トランシーバーについては、これまで要請のあったイベント等に応じて、隊員同士の円滑かつ迅速な連絡手段のために逐次、整備をしてきた。市内では令和2年度に陸前高田・三陸花火大会の開催など、これまでにない大きなイベントが開催されたところであり、交通指導隊員にも広範囲において交通誘導に協力をいただいた。今後も交通指導隊員の配置に応じた台数を整備していきたい。

機材等の保管場所については、現在の庁舎には十分な場所がないことから、担当課所管の別の施設で保管しているが、新年度から新庁舎に移動することから、新たな保管場所の確保について検討する。会議を開催する場所については、これまでと同様に、庁舎の会議室を確保する。

市観光物産協会

【交流人口拡大のための協働について】

回答　本市では、「地域資源を活かした観光振興を推進する」を基本政策に掲げている。これからも市観光物産協会と共に震災・防災・減災教育や豊かな自然、地域固有の歴史・文化、三陸の新鮮な食など、多彩な観光資源を一層磨き上げ、観光まちづくりに携わる人材の育成・活用などを進める。また、漁業、農業、自然などをフィールドとした観光コンテンツを構築し、多様化するニーズに対応しながら、交流人口の拡大に向けて取り組む。

市Ｐ連との議会と語る会

市ＰＴＡ連合会

【通学路の整備について】

回答　通学路については、街路灯の整備に向け、各学校を通じて設置箇所の調査を行い、学校及び関係課と共に、現地確認を行った。街路灯の設置は、予算の範囲内で優先順位等を考慮し、令和2年度および令和3年度に順次整備を進めていく。

通学路を含む道路の歩道やガードレール等の整備については、市内各地で整備が進められているところであり、引き続き各道路管理者に対し、働き掛けを行う。

通学路の点検については、毎年度、ＰＴＡや地域の交通安全協会、警察、各道路管理者、学校関係者等が連携して実施しており、児童生徒が安全に通学できるように、危険箇所の把握に努める。

【新型コロナウイルス感染症などへの対応について】

回答　学校行事等については、これまで、その内容や有無について、学校長の判断により決定していたところであり、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症という特殊な事情があることから、教育委員会と各学校長が協議しながら、主要行事の実施時期等について、決定してきた。学校行事等については、引き続き、学校長を通じて、保護者へ説明していくよう配慮する。

カウンセリングの充実については、現在、巡回型や配置型等のスクールカウンセラー5人体制で、児童生徒の心のケアに努めている。スクールカウンセラーについては、令和3年度以降も必要と考えており、県に継続配置の要望をしている。

オンライン学習については、現在、ＧＩＧＡスクール構想に基づき、1人1台のタブレット整備を進めており、休業時においても各家庭で学習できる環境の整備を図っている。ゲーム時間については学校でも指導しており、各家庭においても指導や協力をお願いしたい。

臨時休業時等、保護者の休暇に関する各企業への協力要請等については、関係機関と協議の上、検討する。

広田湾漁協青年部

【漁業の残渣処理に係る補助について】

回答　補助事業については、広田湾漁協と協議しながら、可能な限り継続する。

広田湾漁協と連携して養殖残渣を堆肥化する試験を行い、残渣の一般廃棄物としての処理量の縮減及び漁業者の負担軽減にも取り組む。

海岸等に散在している廃プラスチック製品類の処理に対する啓発については、広田湾マリンキッズの活動等を通じて、プラスチック製品の適正処理を広く呼び掛けていくほか、（公財）日本財団と共同で海洋ごみ排出量削減事業を行う県との連携も検討する。

【カキ殻を有機栽培の肥料にするなどの有効活用について】

回答　カキ殻は漁場造成、底質改善および水質浄化作用に一定の効果があることは各種試験において確認されており、事前に関係機関への手続きや、一切の付着物を除去する等、不法投棄に該当しないような事前協議が必要。

小友浦残土処分工事に使用することは、協議や手続きの期間、付着物除去費用などの面から困難と考えている。また、オーガニックランドにおける利用については、今後、事業者と協議する。

市森林組合

【林業に関連した補助の拡充について】

回答　山林管理において、国や県の補助事業を活用しながら施業を行っていることから、今後とも補助の拡充について要望していく。

森林病害虫対策については、松くい虫やナラ枯れ対策の拡充、他の樹種への拡充について森林組合と連携しながら国や県に要望する。

【自伐型林業従事者と森林組合の交流について】

回答　市の林業振興を図る上で、大規模機械等で作業を行う経営体と小規模な作業を行う自伐型林業従事者の両輪で森林施業を行う必要がある。その意味においても両者のマッチングは必要であり、担い手の育成を図るための重要な課題でもあることから、市が積極的に交流機会の創出に努める。

【市有林の通年管理について】

回答　市有林については、経営計画に基づいた施業を行っており、これまでも部分的に委託し、管理や伐採を行っている。関係機関とも連携しながら、測量・毎木調査を含めた作業委託を実施するなど、早期の業務発注に努める。

（担当・蒲生哲）

お知らせ

オンライン議会報告会の開催について

例年４月～５月にかけて開催していた各地区を対象とした議会報告会につきましては、各地区コミュニティ推進協議会に協力いただいた「コロナ禍における議会報告会開催に係るアンケート調査」の結果を踏まえ、ワクチン接種等により事態が収束するまでの間、延期することとしました。

代わりにオンラインによる動画配信によって、令和２年度の議会活動や令和３年度予算について報告する予定で準備を進めております。配信の際には改めてお知らせします。

なお、陸前高田市議会のYouTubeチャンネルでは、会議音声の生中継及び過去の会議音声の配信を行っております。陸前高田市ホームページ内の市議会のページから開くことができます。

※市議会 YouTube の視聴方法

陸前高田市ホームページ→市議会→市議会→本会議及び特別委員会の音声中継→陸前高田市議会（YouTube のサイト）をクリックすると陸前高田市議会のチャンネルへ移動します。

QR コード
（音声配信）